

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月10日

121 農業機械

調査者氏名 谷川 幸志雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア (マラ州)	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	Agricultural Machinery	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
農業機械			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): Korporasi Pembangunan Desa (Rural Development Corporation)  
(日本語): 地方開発公社
2. 隊員勤務先名称: K.P.D (Kota Marudu 麻坡港) 語名称 ( 地方開発公社 )  
所在地: Block D, Lot 14, Sedco Complex, KK 主要都市からの距離 (KKより / キロ)
3. 事業規模及び内容: 日本で言う地方開発的のなもので有るは局中マラ州首席大臣直属のものと組織され、従来の地方の開発(鉄鋼業... 石油、大豆、パルミ、野菜化)進行、2022年開始。現在各地区、約60のプロジェクトを実施している。
4. 設備概要: 設立以来3年たらずに現在各種設備を準備中である充分ではない。作物の冷蔵庫、ハブ及び兼用トラクター、農機具等の設備がある。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 業務上の地位: 農業機械 Supervisor (農業機械、トラクター、トラクタ、刈り取り機、マルチング機、プロジェクトマネージャー、スプリング、耕し、整備の指導者として各種業務の補佐を行う)
- ② 業務の範囲: ② 初級技術者の監督及び指導 ③ 整備係及び運転者の業務の補助
- ③ 業務の形態: 助言、指導 ④ 農業機械の指導、管理、修理、監督及び指導。ハブ、トラクター及び兼用トラクターのメンテナンス及び操作業務、プロジェクトマネージャーの指導及び、各地区プロジェクトの進捗、モニタリング。
- ④ 対応のハードウェア: 特に準備不足の、各地区プロジェクトの配備不足のトラクター等のスタッフ (同職種、同所属先で従事している無経験者はトラクター、耕し、整備のハードウェアを開設している)
- ⑤ 機械: トラクター、ハブトラクター、兼用トラクター、ハブ農業散布器、トラクター、草刈り機 (詳細後日報告)
- ⑥ 外国人: アメリカボランティア
- ⑦ 使用言語: マレー語と英語 (訓練はマレー語と英語は自習しておく)

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** KPDは設立されて以来3年たらずに歴史も浅く必要の機械及び中級技術者の人材が不足している。現在約60の開発プロジェクトを継続中であり、1年6ヶ月、新しいプロジェクトを計画している。このため、開発プロジェクトに肉付農業機械を助けて技術及び農業開発プロジェクトを助言して、実際の指導を行うこと、これら経験豊富な技術者の受け入れを期待している。

- (4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**
- ① 農業機械関係、卒業を終了資格を得た人で実務経験のある人、又は同等の能力がある人
  - ② 可能であれば自動車整備士3級資格の取得が望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58年 4月 15日

121 農業機械

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Department of Agricultural Extension,  
 1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Cooperatives  
 (日本語): 農業機械の協同組合省 農業普及局  
 2. 隊員勤務先名称: Seed Center No.5 日本語名称 (種子センター No.5)  
 所在地: Prabuttabakt, Tumbal Khoktum, Lopburi Province 主要都市からの距離 (約) 130キロ  
 3. 事業規模及び内容: タイの種子生産は、農業普及局種子部の所管の「タイの農業計画」の一部である。計画はタイの増産を計るため、計画地域内の農家に、より高品質の種子を生産し提供するにあり。  
 4. 設備概要: このプロジェクトは、日本政府の技術協力により大規模な支援がなされており、専門家を派遣されている。

- (2) 隊員の業務内容:
- ① 職務上の地位: 技術監督官 (Technical Supervisor)
  - ② 技術の範囲: タイの種子の加工工程に用いられる各種機械、種子栽培試験用機械 (時にはセクター用電気機器) の修理技術が求められる。  
 例: seed germinator, tractor, truck scale, thresher, corn sheller, IR22, 除湿機, 冷水機等  
 車にトック、車脚等一般車両の修理も可能ならば最高。
  - ③ 業務の形態: 同じセクター内の日常業務の中で、カーポートを指導。セクター内の職員用宿舎に宿泊する。
  - ④ カーポート: 自動車整備工 (運転免許) 1名、電気工事士 ( ) 1名
  - ⑤ 利用する機械: 必要ならば同セクターの電気工用機。
  - ⑥ 必要となる語彙: 泰語
  - ⑦ 使用する言語: 英語 (会話と書力)、(タイ語も勉強できれば可)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
 協力隊員がもつ知識と技術、それに努力することにより、タイ人のカーポートに伝播していくことは、タイの発展に貢献するに大いに。タイ側は期待を寄せている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):  
大卒 (農業機械科)  
タイの種子生産用の農機具に関する知識と経験があること  
 タイの種子以外の作物の種子生産に関する関係のある民間企業又は政府機関での勤務経験があることなどを望む。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 17 日

121 農業機械

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery	(男) 4 人	訓練開始 1981年10-12月
	(日本語) 121 農業機械	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 1982年2-4月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)

(日本語): 農林省農業管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Agriculture Extension Training Institute 日本語名称 (農業普及員養成所)

所在地:

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業普及員を養成する政府機関。現在全国12カ所が完成してあり、1カ所は隊員が配属されている。

ニ. 設備概要: 事務所、職員住宅、生徒用宿舎、農場用ポンプ、耕耘機、トラクター等整備されている。

(2) 隊員の業務内容: 現在は2年制(近く3年制移行予定)の農業普及員養成所で農学I, II, 農業機械等8教科あり。隊員は農業機械を担当し、実習指導にあたる。

1. 隊員の業務上の地位: 校長直属の教官

2. 技術の範囲: 耕耘機、浅井ポンプ等の修理実習、トラクター等の運転の他、講義、農具改良等。測量も入るので平板測量技術があればなおよい。

3. 業務の形態: 圃場、ワークショップでの実習指導を主とし、教室での講義もある。

4. 対象者およびインターパート: 生徒は18~20才で実務経験はない。インターパートは大卒、大学院卒で30~40才で理論には強いが、実務はない。

5. 現地で利用できる機械: 上記設備

6. 取場におけるオーストラリア人等: JICA隊員、野菜、農業機械が他AETIにいる。

7. 使用する言語: 生徒および農民とはベンガル語。校長、教官等は英語を必要とする。

8. その他: 当国に農業機械の専門課程がなく、教官の知識は乏しく、農業局長の言によれば農業機械だけは全AETIに欲しいとのことであった。一般に農家で農業機械といえば浅井ポンプであり、かなり普及しているため予防整備等が普及員の知識として必要とする。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和48年以来5代に渡り4カ所に配置されていたが、中次5ヵ年計画の新設により、各AETIに配置し欲しい旨の要請があったためである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部系短大卒以上

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 10日

## 121 農業機械

調査者氏名 江畑 義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	AGRICULTURAL MACHINERY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57年 月迄に現地到着のこと
	農業機械		

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE  
 (日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: KIBAMA EDUCATION CENTRE 日本語名称 (キバマ教育センター)  
 所在地: KIBAMA (P.O. Box 20054, KIBAMA) 主要都市からの距離 (ダラより 40キロ)

ハ. 事業規模及び内容: キバマ教育センターは学校群、農場、病院、軍部の5つあり、キャンパスを含め  
 12000エーカーに各種家畜類、野菜の栽培し、地域の一大組織となっている。ポードがあり、周囲各省との  
 連絡をとりながら運営されている。

ニ. 設備概要: 農業機械部内だけを記すと、家畜農場、酪農場にはトラクター、カッターマンシン、12キローワー、  
 レターがあり、メンテナンスで修理を行なう。工具類は不揃いである。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 業務上の地位... 赴任後決定
- ② 技術の範囲... 各種農耕用農具、Rの養鶏技術、シエローの維持管理。  
 トラクターはフェード製7馬力、カッターマンシン5台、シエロー1台等
- ③ 業務の形態... 各種農業機械のメンテナンスが日常的業務になる。カッターパートに付して  
 も技術指導を行なう。
- ④ 村民者からのサポート... メロウィツは農業(Folk Development College)を含め8人いる。  
 4人はF.D.C卒業生、4人は経験者である。技術レベルは低い。
- ⑤ 現地で利用できない機械... 簡易な工具類は不揃いである。
- ⑥ 職場に於ける外国人... なし
- ⑦ 使用上の言語... スワヒリ語。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規派遣要請**

・各地で活躍している隊員の評価が高い。且、当国での農業機械専門家の人材が少ないため、  
 今回の要請になった。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

- ・高卒以上
- ・実務経験 2~3年以上 (テニール・カンリニ両方の整備工であれば尚可)
- ・農業一般についての多少程度の知識をもち、これは好都合。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 25日

130 病虫害 / HORTI

調査者氏名 吉村正秀

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PNG	(現地公用語) AGRICULTURAL	(男) 1人	訓練開始 56年 10月
	(日本語) INSECT PESTS & CULTURE	(女) 3人	派遣予定 57年 2月
	病虫害	(どちらでも可) 人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): LIAISON WITH DEPARTMENT OF ENVIRONMENT AND CONSERVATION  
 (日本語): 環境保護局関連機関

2. 隊員勤務先名称: WAN ECOLOGY INSTITUTE 日本語名称 (ワウ生態研究所)  
 所在地: P.O. BOX 17, WAN TEL: 44-6341 主要都市からの距離 (KUMより200キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ワウ生態研究所は、PNGの動植物相および生態学研究所の中心地として、この地域の保存と教育目的に寄与するために設立された組織である。

ニ. 設備概要: 同研究所には1棟の建物がある。2つの研究所には簡素な研究設備並びに図書館、脊椎動物と昆虫用の飼育ケース、脊椎動物、昆虫、植物の固定標本がある。

(2) 隊員の業務内容:

PNGの動物相、植物相は極めて豊富であるが、それについて知らぬ人が多い。この保存と環境教育について、同研究所ではこのギャップを埋める。農業、林業、公衆衛生に寄与することと意図し、地元の生態系における生態学を理解し、その観光からのワウ地方動植物の研究も含まれている。

隊員は同研究所に於いて、研究員として、病虫害の生態と、園芸の普及にある(英文blue sheetには養蜂も含まれている)ことと上記2系統)

①②③については、研究員として、ワウのガイドの指導に従って、その普及活動デモンストラティブに従事する。教室としての教鞭をとることがない。

勤務は月一食 AM 7:45 ~ PM 4:06

ワウには10名の、うち3名の現地人がいる。現地人は何れも専門課程終了者。このと共同に従事する。

USの持参品がある。言語は英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同研究所は PNG大学、ワウ大学の外郭機関に準政府機関である。教育、研究、普及、デモンストラティブを目的とし、その技術に期待に要請されるもの

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学で専攻し、英語を2-3年習得

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 年 月 日

131 家畜飼育

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

**(1) 配属先**

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry  
(日本語): 農業省畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: B.A.I. Region II, Regional office      日本語名称 (畜産局第2地区事務所)  
所在地: San Fernando, Pampanga      主要都市からの距離 (マニラより 66キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Region II の 6 の州にある各州に Vet. office の下に Breeding Station, Breeding Center, sub center を配置し、牛、水牛、豚の繁殖の技術指導、各家畜の打撃予防、疾病治療が行われている。Regional office にて実験室が設置され、設備概要: 主に各種検査、飼料分析等が行われている。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 現地での技術指導をリードし、家畜繁殖に対する技術的向上に力を入れる。
- ② 畜産に対する広く浅い知識を必要とするが、技術指導の理論と実技について深い知識を必要とする。
- ③ 実践的に技術指導を行うことが多く、技術指導師としての普及活動も必要。
- ④ 技術指導師の理論的知識は比較的浅く、日本の High School 卒業程度、カレッジまたは大学の畜産科卒業程度が実務面での技術水準は高いとされている。
- ⑤ B.A.I. Region II にて過去アメリカンコースターが導入されたが現在はほとんど受け継がれておらず、外国産の配置は少ない。(大半)
- ⑥ 技術指導に使用する材料はほとんどが牛の場合現時点では凍結アンセル精液を使用しているが、ストール牛にも使用される程度。現地には人工授精用の材料のみ。
- ⑦ Region 内では主に3つのジョブが各地で使われているが英語で大半はこなせる。知識は知っているがよりよい。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** 上村秀三隊員(54/4)の交際要請  
受け入れ側も技術指導の質的向上と受入率を高めることに目的がある。しかし依然として技術指導の普及段階であるため、この普及と平行して家畜のグレードアップを望んでいる。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**  
農業・畜産関係の大学卒業程度が望ましい。家畜技術指導師  
オートバイの運転免許  
技術指導師としての実務経験 1~2年。 → (3ヶ月位)  
実際に人前で自信を持って指導し、妊娠鑑定ができる

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月14日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Animal Husbandry (A.I.)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 家畜飼育 (人工授精)	(どちらでも可) 人	受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)  
(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: National Artificial Breeding Center (NABC) (国立人工授精所)  
所在地: Alabang, Muntinlupa, Metro Manila 主要都市からの距離 (マ) より20キロ

ハ. 事業規模及び内容: 畜産局傘下により輸入凍結精液 (液体窒素冷却) の地方発送、国内製凍結精液の製造及び発送、現地の人工授精師への研修等を実施している。今年度予算規模 125ペソ (360万円)、正職員 16名、臨時職員 2名。

ニ. 設備概要: 約 80ha の土地に雄牛牛舎 (採精用)、雌牛牛舎 (約20頭、雌牛も人工授精研修用)、80cm 超模長方体サイロ (方筒型) 1基、パイプ、コンクリート植栽地/破産事務所。

(2) 隊員の業務内容

現在精液採取用雄牛はミュー種水牛2頭、ホフスタイン1頭、レッドグーランド1頭、ウイグアン種 (輸入精液) 2頭、ミュー種若雄水牛 (現在訓練中) 3頭いる。週3回の頻度で行なう凍結精液の製造にスタッフとして① NABC (主に水牛から)、② 畜産局と契約している個人大牧場 Pサーブ4 (肉用牛)、③ フィリピン唯一の乳用牛大牧場 マグリップファームでの凍結精液製造に携わっている。又、将来日本式ストロー式の凍結精液に移行する予定であり、その研究、普及、必要機材の調達に任務を負う。その他年に3回~4回1ヶ月間の期間で実施されている現地人工授精師に対する研修の教官としての任務もある。

- ① 隊員の業務上の地位: 技術指導員。
- ② 技術の範囲: P2P14式、ストロー式凍結精液製造に関する技術。人工授精教官としての早期妊娠鑑定から分娩までの鑑定技術。
- ③ 業務の形態: 凍結精液製造に於いては他の職員と一緒に仕事しながら、自らは一歩リードしている。しかしリードの教える形態をこなすから、相手に教えられるという印象を与えることは出来ない。

- ④ 対象者の年齢: 大卒者で人工授精フィールド歴3年以上、外国研修(6ヶ月)の経験あり。
- ⑤ 現場への利用すべき機材: 精液低温処理装置 (HFK, ストロー用、4室式)、液体窒素タンク、その他人工授精用器具、ゴム手袋、ポリ手袋等あり。
- ⑥ 現場における外国人等: なし。⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 畜産博隊員 (20名、家畜人工授精) の支援を請う。徐々に発展している人工授精プログラムの促進に寄与することを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大卒者で実務経験3年以上。② 人工授精フィールド歴1年以上。
- 3. 可能であれば獣医師か、又、凍結精液製造に携わった経験のある人で、赴任時年齢30才以上。
- 4. 英語能力レポート提出が頻繁にあること、ホリタの能力を要する。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月15日

131 家畜飼育

調査者氏名山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ギニア共和国	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育(養豚)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと	

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): AKIam Agricultural College (A.A.C)  
(日本語): アフラン農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 全上 日本語名称 (全上)

所在地: Banga, AKIam 主要都市からの距離 (カボより 8 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業・畜産・農業学コース及び修士課程(初等農業教育)を持つ大学部と併設の4年制農業高校; 並に2年制農業技術科がある。

学生総数約1,600名, 教員総数約20名。農地約60ha(実習地を含む。)

ニ. 設備概要: 牛舎一棟, 若干の放牧地, 化学実験室等あるが, 日本の高校や大学にみられるような研究室といつて施設はない。1980年にはHate Collegeに昇格予定。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: プロジェクトのインチャージ(大学教官)と同格

② 技術の範囲: 豚の生産, 肥育, 自然給飼料の調製, 養豚に関する講義及び実習指導

③ 業務の形態: 畜産部門の養豚場が主な活動の場となるが, 地域内農家への養豚経営(自然給飼料を中心とした。)の普及及び養豚に関する科目の担当(講義-実習)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 高校生, 大学生を中心に講義-実習を行うと共に地域内農家(養豚に対する知識は低い)が対象となる。

⑤ 現地で利用される器材: 注射器などない状況である。

⑥ 職場に於ける米国人及び日本専門家との配属状況: 現在米国籍部隊2名が活動しているが, 畜産部門には関係していない。

⑦ 使用する言葉: 大学での業務に関しては「英語」を使用するが, 当地のダイアクト「アクラン」を使用する機会が圧倒的に多く, 特に普及活動を行う場合アクランが主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 遠藤賢司隊員(53年前, 家畜飼育)の交替要請。

先任隊員は主に肉用牛のプロジェクトを担当してきたが, 本年10月からは養豚普及(大学で生産した素豚を農家へ貸与する方式と取り決ま)プロジェクトの諸準備に課組が予定である。これに伴って素豚の生産等大学側の基礎整備を行ない。地域内農家の経済向上を目指した自然給飼料主体の養豚を農業経営の中に定着させて行くことにある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農学部畜産学科卒で養豚養鶏に2年位の業務経験のあることが望ましい。  
豚の去勢, 診察, 治療の経験があること。



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 2 日

131 家畜飼育

調査者氏名 新澤 昭三 *Shinazawa Akio*

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	<i>Animal Husbandry</i>	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
家畜飼育			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): *office of Governor, Davao Oriental*

(日本語): *ダバオ、オリエンタル州、知事室*

ロ. 隊員勤務先名称: *office of Governor* 日本語名称 ( *知事室* )

所在地: *Mati, Davao Oriental* 主要都市からの距離 (*Davao*より170キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *San-Isidro* 町に於いて、*Pilot Project* としてヤシ林の中に既に800頭の肥育牛が放牧されている。これを2~3年後には3000頭とし、他地域へも拡大の予定。

ニ. 設備概要: 別に見ればよい。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 隊員の業務上の地位: *知事室の技術 staff.*
- ② 技術の範囲: *飼育、管理が主として行われるが人工授精、病気に対する知識が求められる。*
- ③ 業務の形態: *技術指導員として Pilot Project を見ると同時に、要請のある地域に赴いて家畜飼育の技術指導を行う。*
- ④ 対象者及びそのから: *タラサート* の技術水準、年齢及び年令; 農民を対象とするものであるが、*タラサート* は大半である。
- ⑤ 現地の利用すべき機械: *別に可し*
- ⑥ 使用する言語: *英語、セバノ語*

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** *新規増産*

*Davao Oriental* 州には既に農水産隊員が入り、その実績があることから、新しく始める肥育(牛)は是非協力の隊員への協力を得たいとしている。特に同州の農畜開発振興に力を入れるより、牛の肥育をその一環とする。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):**

*大半後2~3年の経験があること、望ましい。人工授精師資格、獣医師である。*

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

131 家畜飼育

記入昭和 56 年 4 月 2 日

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Animal Husbandry	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家畜飼育	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Provincial Development Staff, Bulacan

(日本語): マラカナン 南警局

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 ( )

所在地: PDS, Malolos, Bulacan 主要都市からの距離 (マラカナンより 45 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

州内の事業を企画し、調整したりして、PDS 自体は技術者を雇い、技術的な協理は BAI (南警局) とする。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 州内の技術スタッフ (南警局)

② 技術の範囲: 豚、鶏の飼育が業務の中心になるが、当然人工授精、病気に対する知識が必要になる。

③ 業務の形態: 技術指導員として、州内の farm を巡回指導し、実地に応じて、町打を巡回し、バックヤードプロブレムに対する技術指導を行う。

④ 対象者及びターゲット: 対象者は農民であり、ターゲットは州内の技術者である(大半)。

⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。

⑥ 使用可能な言語: 英語、4ヶ国語。

※ 添付資料: 昨年現在のマラカナンに於ける家畜頭数表。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

新規申請

Bulacan 州は養豚、養鶏が、最も盛んなところであるが、新しい技術を導入し、畜産関係振興を促進しようとするものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大卒
2. 人工授精師の資格保有者 (経験可)
3. 2~3年の経験のある人。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 10日

## 131 家畜飼育

調査者氏名 江畑 義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1人	訓練開始 年 月
	ANIMAL HUSBANDRY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57年11月迄に現地到着のこと
家畜飼育			

**(1) 配属先**

1. 配属先名称 (現地公用語): PRIME MINISTER'S OFFICE  
 (日本語): 総理府

ロ. 隊員勤務先名称: KIBAHU EDUCATION CENTRE 日本語名称 (キバハ教育センター)  
 所在地: KIBAHU. (P.O. Box 10054, KIBAHU) 主要都市からの距離 (ムバラより 40キロ)

ハ. 事業規模及び内容: キバハ教育センターは学校群(セカンダリ、スル、地域開発専門校、看護婦養成校)及び  
 家禽農場、酪農農場等7つの部門から成り立、キャンパスを含む 17005-カーに各種家畜類、野菜類  
 の栽培をし、地域の一大組織となり、地域住民に教育サービスを提供している。ポトポト(東部省庁)と連絡を  
 二. 設備概要: 酪農部は牛舎を備えている。家禽部内には鶏舎と、家禽農場、酪農農場には鶏 6000羽、牛 80頭  
 豚 200頭を飼育している。他農場にはトラクター、カッターマシン、バキューム等が備えられている。

**(2) 隊員の業務内容:**

- ① 業務上の地位 ..... 主任決定(アドバイザー兼インストラクター)
- ② 技術の範囲 ..... 隊員は現任保有している家畜類の健康管理、簡単な治療等及び飼料  
 (牧草管理)管理を行ないながら、Folk Development Collegeの生徒(現在  
 200人、2年生)に対し、飼育方法、管理について野外で実習指導することとし、  
 カウンセラーとして技術指導を実施する。
- ③ 業務の形態 ..... 広範囲に亘る業務であるが、畜産部内の DAIRY FARM に配属され、常  
 的には現有家畜類の健康管理が主な仕事になる。
- ④ 対象者のカテゴリー ..... 農場には 5人のスタッフの他に、カウンセラーといる。  
 4人は 70-75 歳、1人は家畜飼育免許保持者であるが技術は低い。
- ⑤ 現地で利用できる人材 ..... 特になし
- ⑥ 職場に於ける知り得人 ..... なし
- ⑦ 使用する言語 ..... スワヒリ語。

**(3) 受入希望の背景と受入国の期待:** ● 新規派遣要請

- 各地で活動している隊員の評価が高いため、当国での家畜飼育専門家の人材が少なく  
 得られなかったため、今回の要請となった。
- 当校を中心に地域社会への畜産振興の期待を受けている。

**(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について◎印で囲むこと):**

- 大学卒
- 経歴年数は 10 年以上
- 特に鶏の飼育に 2 年の実務経験を併せている者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

13105 養 蜂

記入昭和55年9月8日

調査者氏名 表 孝雄 (表)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1人	訓練開始 56年4月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人	派遣予定 56年8月10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 一年一週に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLANTICO (日本語名称)

所在地: トゥリアルバ 主要都市からの距離 約67キロ

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース20名~40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 分校としてはますますの校舎 図書館等をもっている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 講師 (INGENIERO)

② 技術の範囲: 高校 (COLEGIO) を卒業した程度の者に2年間のコースで養蜂について講義する他、蜂の管理、女王蜂の飼養についての研究が望まれている。農家への普及活動を行う。

③ 業務の形態: 教室型 - 実習あり

④ カウンター・パート: 大卒の講師 (INGENIERO)

⑤ 現地にある材料: 大まかにはあるが実験用器具は揃っていない。

⑥ 才三国人: いない。

⑦ 使用する言葉: スパイン語

(詳細は別途資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来教育機関のほとんどが、首都の位置する中央盆地に集中していたが、地方に教育の機会を与え地域開発に貢献すべく同大学(トゥリアルバ)がその一環として設立されたが教育スタッフ不足に直面している。養蜂はかなり遅れており同大学においても養蜂の講師は一名のみ。養蜂を農家の収入源の一つにするとして99%輸入に頼っているコスタ・リカの現状に

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) 鑑み赤字減しの一環として

① 4年制の大学卒業者 っある。 (大きくカエス)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 4 月 日

13105 養 蜂

調査者氏名 <sup>左ハフグアイ国</sup> 海外駐在員 望月 又

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 養 蜂	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministerio de Agricultura y Ganaderia (MAG)			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)			
(日本語): 農牧省農牧普及公団			
ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de Caacupé		日本語名称 (カクペ普及事務所)	
所在地: Caacupé, Cordillera		主要都市からの距離 (首都より 54 キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団が統轄する全国約58ヶ所の普及事務所の中でもカクペ普及事務所はコルディエラ県に於ける中央連絡所的機能を果としており、5人の普及員を中心に管内農家に対し一般農業指導、生活改良普及、洋穀指導等の業務を実施している。			
ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上、機材等は皆無。唯一隊員携行分のみ。基本的設備は、一応整っているが、建物が古く、水が十分ないのが欠点である。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位 - 普及指導員			
② 技術の範囲 - 野生蜂の取り方、管理方法、採蜜、女王蜂の改良、ロイヤルゼリー採集までを一貫して初心者へ指導するほか、既養蜂家に対しては各種問題等の相談役を担う。			
③ 業務の形態 - コルディエラ県に於ける小規模養蜂農家と巡回指導し、上記「技術の範囲」を指導すると共に、シーズンオフには養蜂に関する簡単なパンフレットを作成したり、又民間ラジオ放送を通じて養蜂の生態に関するブランクを行なうことも期待されている。その他、養蜂振興を目的とした短期講習会に於いて参加者への実地指導にも従事するなど幅広い活動が要求される。			
④ 対象者及技術水準 - 一般養蜂農家 (年齢はまちまち) を対象。既養蜂家はある程度の知識・経験と有する。			
⑤ 利用できる機材 - 業務遂行上、国立アスンシオン大学農学部養蜂学研究室と密接な連絡を維持することが必要で、果箱作成、蜜源調査、花粉、蜂蜜分析等に関する一切の機材は、同研究室のものを活用可能。			
⑥ 本国人の配置 - 同上養蜂学研究室に対する専門家派遣が約10年間続き、本年をもってプロジェクトお切りの予定 (建設関係)			
⑦ 使用する言語 - ス페인語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ここ数年当国の養蜂に対する関心及認識は非常に高まりを見られており、養蜂を志す人々が増加する傾向にある。これは蜂蜜の単価が上昇しつづき、特に一部地域では土地条件が非常に悪く、他の農業では生計維持が困難であることに対し、養蜂業では亦依り自立し得る結果が次第に出始めていること等によるものであるが、「小農家の生活向上」を政策に掲げる農牧省として、更に養蜂の普及を図るべく、今回要請越したものである。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
学歴は特に内ないが、荒いアフリカナイズされた野生蜂を管理し得るだけの実務経験が必要とされる。			
又国立大学養蜂学研究室の器具、器材を利用する観点から、実験及び実験器具に対する基本的知識を有すればなおよい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 17日

132 養 鶏

調査者氏名 表 伸一 郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Poultry	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 132 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Agricultural Development Corporation (BADC)  
(日本語): バングラデシュ農業開発公社

ロ. 隊員勤務先名称: BADC ADE 日本語名称 ( )  
所在地: ঢাকা 主要都市からの距離 ( ) より (キロ)

ハ. 事業規模及び内容: BADCは主に供給を中心にし、肥料、種子、機械供給を以てしているが、それ以外の分野でも、現在4カ所の開発農場(ADE)を20カ所とし、農業サービスセンター(ASC)として拡大の意向。

ニ. 設備概要: 現在4カ所のADEにはインキュベーター、鶏舎はあるが、野菜中心のため、養鶏はカニンポールを除いて盛んではない。

(2) 隊員の業務内容: ADEは野菜の種蒔生産が中心であったが、ASC意向に伴って養蚕、養鶏、農業機械修理等多角化する方向。養鶏は英国研修を終えたオフィサー就任により、細々と実施しているものを拡大する意向。1人ずつにカニンポールADEに隊員が1人ずつ、ঢাকা中央で養鶏オフィサーを補佐し、企画、巡回指導にあたる。

ニューカッスル、鶏痘、コレラ、CRD、マラリア等症のワクチン接種、定電圧を得られる停電をする場での3.4V、自然飼料の安定供給、卵価との関係、輸送を含むマーケティングの肉類、飼料等多岐にわたる。費用は多いが、動物性タンパク質供給、食の改善から、魚と並ぶ供給源としてすぐに解決される。隊員の本来の範囲での協力が求められる。レバ中心でブローラーは時期尚早。一部民間でカニンポールに入る。

業務形態: ঢাকাに席を置き、企画の他、ジェネラル、ポテト、ラジエーター巡回指導。技術範囲: 多岐であり、1人に全ては不可能なので、育雛中心とし、あとは隊員の特色部門を発揮するに任ずる。

キャリアポート: 養鶏担当は英国研修終了したばかりの30年代。現場はワーカーで知識の多い者は少ない。

機械: 日本製インキュベーター、ゲージ飼料機は2台あり。1カ所デッカー、卵輸送バッキン有。  
予算: CAREの資金が入っている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

BADCでは養鶏普及に力を入れようとしており、4農場に日本製インキュベーターが入っている。バ国としても官民共に養鶏に注目している。しかしながら卵価、流通機構、その供給、種鶏、病禽、鶏舎等肉類も多く、専門的立場からの助言が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年11月17日

132 養 鶏

調査者氏名 新 田 慶 子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マウワイ	(現地公用語) POULTRY	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養 鶏	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 55年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *ministry of Agriculture & Natural Resources*  
(日本語): 農林天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: *MIKOLONGWE POULTRY CENTRE* 日本語名称 (ミコロンウェ養鶏センター)  
所在地: *MIKOLONGWE* 主要都市からの距離 (ATより35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ① 小卵機3台で毎週6,000羽小化(53年実績) ② 種鶏3,000羽の管理(黒色木ストラップ) ③ 採卵鶏5,000羽の飼養 ④ 6,000羽の初生ヒナを6週令まで育雛育成 ⑤ VETERINARY TRAINING SCHOOL STUDENTSの実習受入れ

ニ. 設備概要: 小卵機3台, 種鶏舎5棟(10室), 育雛育成舎14棟, 採卵ケージ鶏舎7棟(5,000羽収容), ジェル発電機(停電対策用), ローリー3台, チップン1台, 鶏解

(2) 隊員の業務内容: 体処理場1, 作業室1, 薬品貯蔵用の実験室1, 飼料倉庫及び製粉・飼料攪拌機各1

① 職務上の地位: *Technical officer (SENIOR STAFF)*

② 技術の範囲: 育雛・育成・種鶏・採卵鶏の飼養管理, 小卵機の運転

③ 業務の形態: 作業はすべてマウワイ人で行うので, 計画の作成と技術的の助言が主。F&E小卵機の点検のF&E 体処理動もある。日直もある。

④ カリキュラム: *Technical officer* は英国の大学で2年鶏の教育を受けた人にて, 技術水準は日本と変わらない。BUNDA COLLEGE(マウワイ) → 留学, Secondary School → VET. TRAINING SCHOOL → 留学という2つの学歴のコースがある。Technical Assistant は SEC. SCHOOL → VET. TRAINING SCHOOL → POULTRY CENTRE というコースで日本の農業高校卒と同一レベルで養鶏については現場で実習している人。

⑤ 利用設備機材: スチームフリーナ, 動力, ガスフィルター, テーカ-

⑥ 外国人, 専門家: 英国人1名 SENIOR VET. OFFICER を MIKOLONGWE COMPLEX E 管理, その他なし。POULTRY CENTRE 以外では半の新しい7名に伴って CANADIAN の専門家数名が年内に来る。

⑦ 使用の言語: フレッシュ語, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 専攻学校卒以上 ○ 実務経験4年以上



# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 19 日

132 養 鶏

ザンビア

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Poultry Officer	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 養鶏	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 (8月) 56 年 8 月 受入期限 56 年 1 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture			
(日本語): 農業及び水資源開発省 農業局			
ロ. 隊員勤務先名称: Masaiti Farm Institute		日本語名称 (マサイイ農 研修所)	
所在地: P.O. Box 49, Luansha		主要都市からの距離 (ワシントン 25 キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 本研修所は 1966 年設立され、農業従事者、あるいは政府役人を対象とした種々のコースが実施されており、コース参加者は各州から自薦、他薦により集合し、各コースの期間を履修を共にし、研修所にて過ごす。			
ニ. 設備概要: コース用教室、大母川の事務所兼政策策定室 (48 坪)、85 坪のコースの練習用 (Crop, Beef Cattle Poultry Unit, Horticultural Garden, Piggery 等) の施設を築いている。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 隊員の業務上の地位: Poultry Officer の地位。他に Poultry Farming Officer 及び Poultry Lecturer がいる。			
② 技術の範囲: 研修用としてある Poultry Unit の管理、監督。85 坪の毎年 3~4 回開講される National Poultry Courses における講義を担当すること。業務内容としては、鶏の生理、栄養、病気、管理、鶏舎、育成、子鶏、孵化、孵化後、七面鳥、鶏とその他、知識として一般的に深い知識があることが望まれるが、操業は上記 3 人の職責により分担されるので、少くとも、何れ得意な分野を 2~3 個は、知識が深い。			
③ 業務の形態: Poultry Unit の管理、監督。養鶏コースにおける講義を担当する。			
④ 対象者及びその月一以下の技術水準、学歴及び年齢: Poultry Farming Officer 及び Poultry Lecturer の 2 名がおり、一定の技術、知識を有している。			
⑤ 現地を利用できる施設: 孵卵器 (150 卵位入卵できるタイプ) の利用のみ (1 機)。他の 2 機はキーンズが故障で使用不可。鶏舎 2 棟、孵化室 1 棟、教室、管理室、飼料棟、その他。			
⑥ 職場に於ける外国人: 無し			
⑦ 使用する言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
ザンビアでは、いまだ畜産(鶏)が後進的であり、これはこの国に必要不可欠なものであるが、これを商業ベースに築くとする種々の問題がある。そのためには、孵化場を完成し、隊員を派遣、監督を行い、大母川の農家を巡回し飼育指導を行っているが、マサイイ農場研修所が国内の唯一の養鶏を学ぶ研修所であったため、隊員の派遣が急務であった。現在、この隊員が活躍している。その地位は、この国に必要である。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
○大学(畜産学科) (養鶏試験場等において孵化、育成、飼育管理及び衛生等の技術経験を有し(3年以上) 講義等教授経験のある者)			
○(養鶏経験者)			

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 10 日

## 135 獣 医 師

調査者氏名 江畑 義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Veterinary.	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 57 年 / 月迄に現地到着のこと
	獣 医		

(1) 配属先 MINISTRY OF ANIMAL HUSBANDRY

イ. 配属先名称 (現地公用語): LIVESTOCK DEVELOPMENT DIVISION

(日本語): 畜産省 畜産開発局

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRAL VETERINARY LABORATORY 日本語名称 (中央家畜研究所)

所在地: DAR ES SALAAM 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 病理、細菌、ウイルス、原虫、化学、寄生虫、薬浴等 9 部門に分かれ、主として  
家畜、家禽の病気の診断に当てる。現地人スタッフ育成のため付設されてあるスタッフは  
スタッフ (CERTIFICATE) での講義、実習も各部門の獣医 R.O. スタッフが受け持っている。

ニ. 設備概要: 診断用機械及び研究用として設備は一通揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

PATHOLOGY SECTION に属し、主に家畜のスタッフ及び R.O. スタッフでの病理診断を行なう。  
 標本は月に約 100 件で、ニワトリ、牛が最も多く、また犬、豚、山羊、羊、兎、鳥も含まれる。  
 牛の場合、EAST COAST FEVER や BRUCELLOSIS 等の原虫感染症が多く、犬では 50% 以上の狂犬病診断である。ニワトリは SALMONELLOSIS、COCCIDIOSIS が多い。  
 また、他のほとんどの病気の発生がみられる。  
 また、付設されてある 4 年制 スタッフ養成学校は、先生が常に不足しており、解剖室、心臓は組織学の講義、実習の担当も兼任している。

- ・業務上の地位: 病理学 3 年 2 組 研究員
- ・初任給: 150 万、大抵医学科卒、知識も豊富であるが技術レベルは余り高くない。
- ・再任用: 3 年制学校: 1 人揃っている。
- ・職場: 約 40 名、日本人: 2 名、西地
- ・使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: (佐藤の要請)

・タンザニアにおける最高の家畜研究所であるが、DOCTOR 不足と相俟って、家畜行政に力を入れて、この当分の事情から、今回の人材派遣要請となった。  
 2 名、付設学校での校長の要請も強くなるであろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について◎印で囲むこと):

◎大卒で獣医師免許取得者 ◎家畜の病理解剖・組織病理の経験と精進し、病理解剖の知識も豊富 ◎英語に堪能であること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 20 日

ザンビア

135 獣 医 師

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer	(男) 2 人	訓練開始 56 年 8 月
	(日本語) 獣医師(大動物)	(女) 人 (どちらでも可) <input checked="" type="checkbox"/> 犬	派遣予定 56 年 10 月 受入期限 56 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development			
1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services (日本語): 農業及び水資源開発省 獣医及びツェツェ制御事業局			
2. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office (交替) 日本語名称 (州 獣医事務所) 所在地: P.O. Box 16, Chipata 主要都市からの距離 (市内) <input checked="" type="checkbox"/>			
3. 事業規模及び内容: 同省はザンビア全土に 8 箇所のある地方獣医事務所を有し、病理解剖を主として 診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方、ザンビア野外に新設研究所が 1979 年 に完成し、病理解剖、組織切片の鏡検、培養、細菌検査、畜産検査を主として行っている。			
4. 設備概要: 1979 年に同省から特別機材供与として家畜衛生検査用機材 (顕微鏡送心 分離器、照像器、蒸気滅菌器、乾熱滅菌器、凍乾燥機、培養器、蒸留器、水質検査器) が寄贈され、各地に獣医 事務所にも設置されている。その他、一定の設備はあるが、機材によっては修理の必要あり。			
(2) 隊員の業務内容: 事務所にも設置されている。その他、一定の設備はあるが、機材によっては修理の必要あり。 5. 薬品類 (ワクチン、注射液、消毒液) が不足している。実験室はあるが充分とは云えない。			
(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: 獣医師として Provincial Veterinary Officer の監督下に在る。 ② 業務の範囲: 家畜の診療 (農場への往診、診療所での小動物の診療を含む)、病理解剖、 (大動物)、ワクチン注射、寄生虫検査、血液検査、牛の分娩観察、事務所 業務 (局長への英文報告書作成)。家畜は主として肉牛、羊、山羊、豚、鶏 等が対象となる。 ③ 業務の形態: 農場、農場への往診業務。同事務所実験室での解剖検査等の業務。 及び事務所業務。 ④ 対象者及び月々のパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医学は当国にはないが、家畜飼育士、獣医 補助等のための養成学校卒業者が対象となりうる。 ⑤ 現地で利用できる機材: 上記寄贈機材の他、一定整っている。大動物用解剖機材等一式を携務 して行く。産科関係機材、薬品 (大動物用鎮静剤) も当座に分携務の業 ⑥ 職場に於ける米国人及び日系専門家の配置状況: Provincial Veterinary Officer ... 1 人、水牛 ⑦ 使用する言語: 英語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 外国人コントラクター (特にヨーロッパ系) の帰国に伴う切り替え業務として 1978 年より継続して派遣 しているが、ザンビア人獣医師 6 名 (獣医局長を含む管理職) に在る場合は、この現場の業務は、外国人 コントラクター約 20 名がおり、獣医大学の近い現在、コントラクター又はボランティアに頼っている。ザンビア人獣 医師の不足と家畜の病気が多いこと、事務所が 3 の特別機材供与、前年隊員の業績が高く評価され、期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○大卒、獣医師免許必須。○大動物に関する知識及び診療経験 3 年以上。○外人コントラクターが 多いので、毎月英文レポートの提出が必要となるため、英語力 (専門用語を含む) が要求されている。 ○地元の業務に於けることとなるため、当然のことながら、強固な精神力と定着性が要求される。 ○卒業後普通免許取得のこと。			

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

14002 漁業組合

記入 昭和 56 年 4 月 10 日

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タニヤ <sup>23</sup>	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Fishermen's Cooperative	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	(日本語) 漁業協同組合	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Natural Resources, Fisheries, Tourism*  
 (日本語): サマバル天然資源 漁業 観光省

ロ. 隊員勤務先名称: *Fishery Department* 日本語名称 ( 漁業局 )  
 所在地: サマバル 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976年漁業開発のため政府が100万シリングの資金を漁民に貸付サマバル島に12ヶ所、ペニン島に8ヶ所の漁業協同組合を設立せしめらる。

各協同体では組合員20名を限度に小型漁船、船外機(ヤマハ、エコー) 漁具を揃え  
 ニ. 設備概要: 此 漁業局側からは協同組合の運営、漁法などの指導のため、サ島に23名  
 の数に13名の転学を派遣している。

(2) 隊員の業務内容:

サ、ペ、両島の協同組合を巡回し運営上の指導

市場調査及び販売ルートの拡大

効率的な漁法の指導

漁業局の転学に対する経営指導

漁具の調査及び年配

新組合員の勧誘及びエクステンションワーク

予算管理

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本プロジェクトに対し漁業局から16名の転学を派遣しているもの、しかしその費用が少く  
 十分な設備がとれない。日本の技術者、漁法、マネージャーを専任し健全な運営を期  
 待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒者(水産学部)      ○ 漁業協同組合の実務経験3年以上

フィルドワークが多いので忍耐強く健康な者

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表



記入昭和 55年 9月 10日

14002 漁業組合

調査者氏名 飯野 岡り 雄佳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de la Cooperativa pesquera	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁業協同組合指導	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 5年 9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Dirección de Fomento Cooperativo  
(日本語): 協同組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ( )  
所在地: Tela 主要都市からの距離 ( ) キロ

ハ. 事業規模及び内容: 助成局の仕事は、各漁村に漁協をつくり、水産物の増加をはかると共に漁民の貧困からの脱出を目指している。従って組合精神の啓発、経営知識の普及が主な仕事。現地人普及員が4名いるが、水産経営に関する知識を有する者はいない。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 各漁協とも事務専門の職員がいない。経営管理は役員(組合長書記、会計)が行っている為、経営はすんである。隊員の仕事は彼等へ、基本的な水産簿記を教える事から始まる。役員はすべて漁民から成っているが、小学校しかでておらず、計算が苦手な者が多く根気強く教えないければならない。絶対的な漁獲量の少なからず経営がうまくまわっている組合が多く、その中でいかに組合経営を存続させていくかを考えなければならぬ。現在は各組合供、カヌー2-3艘に底刺網を3-4反にて小規模の自営漁業事業を営んでおるか。修繕費は、組合が販売事業を営むようになる可能性がある。従って各種販売事業を行う際の基本的な帳簿組織の知識を十分に身につけている事が大切。現段階では、漁民は複雑な帳簿は記入できない。従って単式簿記(現金出納帳程度)、漁獲日計、集計表、残高試算表、損益計算書、貸借対照表、程度の知識の普及をはかる事は必要。又12月には決算をする必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には現在1980年完成を目標として、FAO及びBIDによる漁業振興プロジェクトがある。目的は広く国民に水産物を供給することである。その為には、漁協を育成し、水産物の供給の役割を果たしてあげている。従って組合の経営管理は非常に重要なものとなり、漁協指導隊員への期待は特に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
全国漁業協同組合学校卒業者で漁協での実務経験が2年以上の者を希望する。大学水産学部、水産経済学を卒業した者でもよいが、漁協での実務経験が必要。  
・四輪免許

(仮)調査表

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 22日

150 食品加工

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Rice-mill	(男) / 人	訓練開始 56年 9月 12月
	(日本語) 穀物検査	(女) 人	派遣予定 57年 10月 4月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Food & Agriculture,

1. 配属先名称 (現地公用語): Central Food Research Laboratory,  
(日本語): 食糧農業省, 中央食糧研究所

ロ. 隊員勤務先名称: Hatonda Branch Office

日本語名称 (中央食糧研究所ハトダ支所)

所在地: ハトダ

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 穀物・植物油の検査・分析

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 同支所の主任スタッフとなる

② 技術の範囲: 米穀類の品種ごとの栄養分析

③ 業務の形態: 脱穀・精米等の研究  
なたね油等の品質検査

④ カリキュラム: 研修生 3名 (定員)

対象者: 3システム 5-6名

⑤ 利用できる機材:

⑥ 中三個人事関係の配置: カルカッタの中央食糧研究所の食糧研究課に、JOCV隊員1名が配属されている。

⑦ 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ネパールでは自国の農産物の栄養分析は十分に研究されていない。新たな品種についても栄養分析・品質検査が必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒、農芸化学、米穀類の品質(栄養)管理に精通していること。

<新規要請>

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 12日

150 食品加工

調査者氏名 古田 賢二 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Food Processing Preservation	(男) 人	訓練開始 56年 9月12月
	(日本語) 食品加工	(女) 人 (どちらでも可) 2人	派遣予定 57年 10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Ministry of Food & Agriculture			
1. 配属先名称 (現地公用語): Central Food Research Laboratory, (日本語): 食糧農業省, 中央食糧研究所			
ロ. 隊員勤務先名称: Food Research Section		日本語名称 (食糧研究課)	
所在地: Baban Mahal, Kathmandu		主要都市からの距離 (より キロ)	
ハ. 事業規模及び内容: 研究所の中には、食糧研究課(製造に肉加工) 栄養開発研究課(栄養分析 動物試験に肉加工) 品質管理課(市販食品の検査 微量成分分析 標準作り等)に肉加工等がある。対象は果実・野菜が中心。他にハトダに穀物研究課がある。主任研究員約20名、助手約30名、作業員10名			
ニ. 設備概要: 現在ボイラーが故障のため、それに付随する設備は作動しない。			
(2) 隊員の業務内容:			
① 業務上の地位: 同研究所の主任スタッフとなる(Gazetted 3rd Class)			
② 技術の範囲: 農産物(野菜・果物)の加工・保存全般の研究・作業			
③ 業務の形態: 農産物についての加工・保存方法の研究 村・中小企業技術者等に対する普及活動、講習会等			
④ 対象者及び カンパイト / 主任研究員には多くは欧米へ留学し、学士・修士過程を卒業(修了)した者が多くいる。 主にカンパイトとなる助手は、高校短大卒である。全般的に技術者のトレーニングが不足している。20才〜40才。			
⑤ 利用できる機材: ドライヤーオーブン、スプレードライヤー、缶詰・果汁加工機、ジャガイモオーブン、エレクトリックバランス、等であるが、修理を要する物もある。			
⑥ 専門家の配置: 無し			
⑦ 使用言語: ネパール語 (但し文献、レポート等では英語が必要)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在ネパールでは一部の食品を除いては加工食品のほとんどを外国からの輸入によってまかなっている。このため自国内の加工技術の向上及び、ネパールの地理条件に於ける農産物の輸送が非常に困難であるため農産物の有効利用を考慮、国情に合った加工・保存技術の開発。 又、中央研究所として不足機械設備の補充。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 製造分野の経験を有すること (食糧研究課)			
大学卒以上 (古田隊員交替)			



# 日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 22日

150 食品加工

調査者氏名 石川 満 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education  
 (日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of 日本語名称 (注: ケニア農工大学)  
 所在地: Agriculture & Technology 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約 4億円)及び技術協力により  
 新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工)、  
 工学部3学科(機械工学・土木建築・電気)、学生数720名、教職員120名  
 ニ. 設備概要: 建物、内部設備、教材、機材共規模を同じくする  
 国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 大学教員 (農学部食品加工学科 食品化学 (I) 担当)
- ② 食品の化学的性質と物理的性質、及び生物学的性質に対する基礎的  
 範囲、食品保存条件等の基礎知識及び化学分析等。
- ③ ケニア人、日本人専門家に全く同様の大学教員に専門科目を担当
- ④ 学生は K.C.E 以上 (11年以上)、年令 18 年以上  
 (Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)
- ⑤ 本邦より贈与、機材 (約 11億円) を使用出来る
- ⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名
- ⑦ 英語 (講義と全て英語で行うが特に英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次々経済開発5ヶ年計画を国に  
 必要とする技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処する為職業  
 技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。  
 本学はその頂点にあつて今後ケニアの技術者養成及び社会  
 の供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
農芸化学や食品加工学関係の学部卒



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 10 日

160 森林 経営

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
92429	(現地公用語) Forest Conservation	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 森林保護	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Natural Resource, Fisheries, Tourism  
(日本語): サンガール天然資源、漁業、観光省

ロ. 隊員勤務先名称: Forest Department 日本語名称 ( 森林局 )  
所在地: サンガール 主要都市からの距離 ( より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サル内の薪炭や家庭用燃料(薪炭)の生産及び自然保護の目的の植林を行っており、また1977年から外貨獲得を目的としてゾムのプロセッティングが行われている。現在薪内の4ヶ所(KICHWELE, MASINGINI, JENDELE, JOZANI)でゾム120エーカー、1012、2-カリヒマス、ケニワリヤなどの木4546エーカー。

ニ. 設備概要: カサカサ植林をされているほか、植林に使う播種、育苗は118千本に昇っており、各ナサリーで移植を行っている。

(2) 隊員の業務内容:

圃場における播種、育苗、移植などの技術指導

植林計画の作成及び調整

移植後の生育状態の調査及び管理指導

全プロセッティングの総合管理及び有機的を組織作り

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

森林局ではカサカサのプロセッティングの数名のスーパーバイザーを派遣し常駐させているが、植林地が大範囲であること、森林保護技術は国内において比較的新しい技術分野であることなどから十分材産がとれている。将来の植林に必要で日本の協力を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大卒者(森林学部) ○ フォルトワークの実務経験3年以上

フォルトワークが足りないので忍耐強く強健な者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月10日

160 森林経営

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Projects & Research Officer	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 森林経営	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources  
 (日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Forestry 日本語名称 (森林局)  
 所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- ・ 林産物検査ユニットの結成
- ・ 情報収集ユニットを結成し適切に収集法を考察する
- ・ 林業課生産ユニットの産品の最終用途に関する調査を行う
- ・ 使用言語: 英語 (堪能であれば要はなし。意志の疎通がはかれること)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学卒 (経済統計を兼ねた森林経営を修得した者)
2. データの収集・分析・報告書の作成のできる者
3. 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 **田上 実**

記入昭和55年3月17日

160 森林経営

調査者氏名 野田 直人

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンジュラス Republica de Honduras	(現地公用語) Reforestación (日本語) 森林経営	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Recursos Naturales 天然資源省

イ. 配属先名称 (現地公用語): Corporación Hondureña de Desarrollo Forestal (COHDEFOR)  
(日本語): ホンジュラス森林開発公社

ロ. 隊員勤務先名称 Departamento Forestal de la Mosquitia 日本語名称 (モスキティア管林局)  
所在地: Gracias a Dios 主要都市からの距離(モスクイアより)300キロ

ハ. 事業規模及び内容: ホンジュラスの国土の約45%は森林地帯で木材は輸出産品の半分の第三位を占める重要な産業である。木材としてはマツが主で他にマホガニー等も産する。この国の植林は1975年1月から国営化され森林開発公社が一任にまかされている。

ニ. 設備概要: フォルト・レピエフに事務所、苗畑があり、そこから70km離れたホルスタに事業所、宿舍、製材施設を有するが、計画的生産が可能は状況ではない。

(2) 隊員の業務内容: 隊員は森林経営部に所属し、ホンジュラス東部ラ・モスキティア地区(標高500m以下の低地、湿地、サント・パウル、熱帯性広葉樹林から成る)において、森林調査、保護、育林造林作業、施業案作製、測量等の業務を行なう。スペイン語による調査報告、計圖書作製は必要不可欠。

- ① 隊員の業務上の地位 森林開発公社技官
- ② 業務の範囲 現地技官等と共に調査、植林、造林等に従事する。
- ③ 業務の形態 ラ・モスキティア地区に常駐し、上記の業務を行なう
- ④ 対象者 森林開発公社職員、地元住民(森林関係労働者)
- ⑤ 現地で利用される機材、ジープ、植樹機、チェーンソー、トラクター等。森林調査、測量用器材は不足している。

⑥ 専門家・第3国人の配置 アメリカ平和部隊、JICA(現在1983年までの間に森林資源調査プロジェクトが進行中である)

⑦ 使用言語 スペイン語 (作業はスペイン語を用いるが現地人はミスケート語を用いている)  
隊員の配属先、ラ・モスキティア地区はホンジュラスの他地域とは人種的、歴史的に異なり、交通も隔絶した未開地である。生物学、人類学等においては好地であるが、同時に周土病(マラリア、 Dengue熱等)や毒蛇、サリ等の危険もあり注意を要する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:  
1975年よりFAO、アメリカ平和部隊が参画しているが、森林経営の技術者が絶対的に不足している。モスキティア地区はホンジュラス国の中でも最後進地域であり、隊員には広範な分野での活動が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
大学林学科卒業以上。苗畑・土壌関係の知識を有する者が望ましい。造林樹種はマツ。食料事情悪く、文化、隔絶地であるため、肉体、精神共に強さを要せられる。アメリカ平和部隊と協同し、文献等も英語の物が多数あり、特に技術用語は英語の知識が必要。  
普通自動車免許は必要不可欠。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年8月9日

170 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method (日本語) 漁具漁法	(男) 1人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限5年8月迄に現地到着のこと
(1) 配属先			
イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR) (日本語): 水産資源局			
ロ. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I 日本語名称 (同上)			
所在地: Dagupan City, Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)			
ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場からなり, 自治体で管轄される水面以外の水域における資源の管理, 保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。			
ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はない。			
(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソンネー半島をカバーするリージョンIのうち4つのプロビンス (イロコスル、イロコスル、ラウニオン、パンガシアン) には現在海を待つ隊員が各々一名ずつ配置され活動している。			
主な隊員業務としては 漁業実態調査, 漁業デモンストレーション, 水産教育分野等が行われており, フィールドワーク主体である。漁・漁況調査データ収集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。			
① 隊員の業務上の地位... 漁業普及員			
② 技術の範囲... 海洋観測および各種漁具漁法の理論かつ実践における基礎的な知識を要する。場合によっては前任隊員の引継ぎ事項として飼育網のデモンストレーションが含まれるかもしれない。			
③ 業務の形態... 広範な漁業普及活動及び北西部ルソンネー海域の総合的な漁業実態調査を推進する上において現時点では各州に一名ずつ配置され, それぞれが十分連絡をとり合って現地スタッフと共に業務遂行する。			
④ 対象者... 漁民			
⑤ 現地に利用できる機材... 特に無し。			
⑥ 第三国人等... アメリカ平和部隊 数名。			
⑦ 使用する言語... 英語, 他カ語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 任期満了に伴う交替隊員の要請 (新里根一隊員(5/2)の漁業調査及び普及活動の継続推進。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産大学卒の実務経験を有する者が望ましい。ただし水産高校卒の者も十分の実務経験および語学力かともなえば可。			



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年8月9日

170 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 57年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)  
(日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR Region I 日本語名称 (同上)  
所在地: Dagupan City Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場から成り自治体を管轄される水面以外の水域における資源の管理保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はなし。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソンネー半島をカバーするリジョンIのうち4プロビンス (イロロス, イロロス, ラウニオン, パンガシナン) には現在隊員が各々一名ずつ配置され活動している。現在この海域を把握するためのデータ類が殆んどなく、等しく調査の必要性が求められている。またそれと平衡して、漁具等のデモンストレーションも考えられる。漁師の殆んどは8~16馬力のエンジンバカを利用して刺網, ベットロールネット, 手釣等を行なっている。

① 隊員の業務上の地位: 漁業普及員

② 技術の範囲: 海洋観測及び各種漁具漁法の理論的且つ実践に於ける基礎的知識が要求される。

③ 業務の形態: 広範な漁業普及活動及び北西部ルソンネー海域の総合的な漁業実態調査推進に於いて、現地では各州一名ずつ配置され、それらが連絡をとりつつ現地スタッフと共に業務遂行することが望ましい。

④ 対象者 漁民

⑤ 現地を利用する機材 なし

⑥ 和三国人等 …… アメリカ平和部隊 若干名

⑦ 使用する言語 …… 英語, パンガシナン語, タガログ語, ホンタオ語, 他カノ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 交替隊員の要請

(北西部ルソンネー半島) 隊員 (54/2) の

漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒で経験を有する者が望ましい。唯し、水産高校卒業で十分な実務経験 (実務) 及び語学力を有する者であれば可。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 9 日

170 漁具 漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 57年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)  
(日本語): 漁業水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I 日本語名称 (同上)  
所在地: Dagupan City, Pangasinan 主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 漁業水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局および試験場等から成り, 自治体で管轄される水面以外の水域における水産資源の管理, 保護, 開発, 利用および処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備等は特にない。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソン (Region I) の海域に面する4つの州 (イロコス・イルテ, イロコス・スル, ラグニオン, パンガシナン) には, 協力隊員がそれぞれ一名ずつ配置されている。主な隊員業務としては, 漁業実態調査, 漁業デモンストラジョン, 水産教育分野, のり養殖実験等が行なわれ, フォールドワーク主体と云える。漁, 海況調査データの蒐集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。

- ① 隊員の業務上の地位 ... 漁業普及員
- ② 技術の範囲 ... 海洋観測および各種漁具漁法の理論の実践における基礎的な知識を要する。
- ③ 業務の形態 ... 広範な漁業普及活動および北西部ルソン海域の総合的な漁業実態調査を推進する上において, 現時点では各州に一名ずつ配置され, それぞれが十分連絡を取りながら現地スタッフと共に業務遂行す。
- ④ 対象者 ... 漁民
- ⑤ 現地で利用される機材 ... 特に無し
- ⑥ 第3国人等 ... アフリカ平和部隊 数名
- ⑦ 使用言語 ... 英語, イロカノ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中村正史 (54/2) の交待  
交替隊員の要請: 漁業調査および普及活動の継続および推進

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
水産系大学卒業者が実務経験を有ることが望しい。ただし水産高校出身者でも十分な実務経験および語学力が伴えば可。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 16日

170 漁具 漁法

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	漁具 漁法	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *United Small Fishermen and Farmers*

(日本語): *Association of the Philippines, Inc.*

ロ. 隊員勤務先名称: *小規模農漁民協同組合* 日本語名称 ( )

所在地: *Malita, Davao del Sur* 主要都市からの距離 (約 100km)

ハ. 事業規模及び内容:

組合員、総数として 5-15PH の船外機 カヌーで漁業を行っている。  
今後の組合として 15名前後の漁船の導入を予定している。

ニ. 設備概要:

組合員所有の船は 5~15PH のバローと呼ばれる漁船

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: 組合所属の技術者

技術の範囲: *Tuna, Mackerel, Skipjack, Mayamaya, Squid*  
の魚獲技術

業務の形態: 組合員に対する技術指導 *Davao del Sur* 州の  
7つの Region-XI の全州を対象として漁法  
指導

対象者及びカウンターパートの技術水準等及び年令:  
漁民を対象として漁具漁法の指導、カウンター  
パートは *Mr. Rustico Z. Taganola*, 現地在  
現地、利用している機械: 漁船 漁網

職場に於ける日本人及び日本国内家の配置状況: なし

使用する言語: 英語、ビサヤ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *新規*

以前、日本人国内家により漁業類を調査し、結果上記の漁業が  
有望との結論に至り、従来の漁具漁法より漁獲量を増やす、先進  
国である我が国に対し、その技術指導を要請越へてきた。就中隊  
員の他地域に於ける活動が高く評価され、今回の要請となることである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

漁業経験が良好に 2年以上、  
(当該分野に於ける)

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 25 日

170 漁具漁法

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	Gear Technology & Trawl Operation	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月 迄に現地到着のこと
170 漁具漁法			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bangladesh Fisheries Development Corporation (BFDC)  
 (日本語): バングラデシュ漁業振興公団

ロ. 隊員勤務先名称: Marine Fisheries Training Centre 日本語名称 (漁業訓練所)  
 所在地: Chittagong 主要都市からの距離 (キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1973年創立, 航海, 船舶操縦, 無線通信, 水産加工, 漁撈, 冷凍操, 電気の各コースを有し, 年平均10名の学生を教育している。

ニ. 設備概要: 創立時ソ連の援助があり約400坪の訓練操縦がある。Sonar, Radar, Echo-sounder, 漁具一式等。

(2) 隊員の業務内容: 1979年同訓練所を文部省により短大格として認可された。

① 隊員の業務上の地位 教官

② 技術の範囲: 1年コースの教育として, 漁撈, トロール, 網修理等の指導にあたる。その他はトロール操縦コースのカリキュラムは, 魚数学, 裁図, 商業漁業原則, 船舶漁具, 漁具操作の安全性, 船設計, 水産加工, 船員心得等と行っており, 実技5ヵ月, 理論7ヵ月と行っている。

③ 対象者及び人材のポート: 生徒は10学年卒, 当コースは現今年は生徒募集していない。

④ 取場における外国人等: 当訓練所には今はいない。過去に2-7人, ソ連人, JOCVがいた。船舶操縦コースにJOCV1名くる予定。ただし隣接している公団に2-7人がいる。

⑤ 現地で利用できる機材: 本年は休講中であり, 校長の話では乗船乗船指導には必要ないとのことであった。実習船専用は無く, 公団関係の実際の操業船(9隻)に乗船させる等の方法をとると思われる。

⑥ 使用語 ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 創立以来校長が一環から自らたす運営方針をソ連, デンマークに引きつけた。船舶操縦コースにJOCV隊員が入りその成果が認められ, 本要請となった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産学部系卒。全2名に任すことは不可能であり, 実習豊富に新卒で可。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年3月30日

170 漁具 漁法

調査者氏名 倉持 繁 (4223)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エリ	(現地公用語) <b>ليبير الليد البيري</b>	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) <b>漁業専門家 (漁具漁法)</b>	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): **المؤسسة العامة للأسماك فرع الليد البيري بالاذقية**  
 (日本語): **農業農地改革省 水産公団 ラタキア支所**

ロ. 隊員勤務先名称: **水産公団 ラタキア支所** 日本語名称 ( )  
 所在地: **ラタキア市内** 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: **水産公団 唯一の海面漁業支所であり 80ト=漁船3隻が運用されている。**

ニ. 設備概要: **80ト=漁船3隻 (360HP 座敷網・旋網兼用船) 3隻  
 20HP 小型船 6隻。**

(2) 隊員の業務内容:

**隊員の業務上の地位**  
 支所に配属され、必要に応じて乗船する。  
 陸上では支所スタッフ、海上では船長待遇とする。  
 (漁具漁法)

**技術の範囲**  
 日本における同規模漁船 100~250ト級の漁船の船長と同業務に必要とする技術が必要とする。  
 具体的には、トロール漁法、旋網漁法の知識、技術、及び、船内作業、運用、海上法規等に関する知識、  
 又、刺網、不撈網、延縄漁法 (小型漁船による) に関する知識。  
 カタログ ない

**使用する言語**  
 乗船時はアラビア語  
 支所においては英語の使用可。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

**エリ国において、又当水産公団において漁業に関し豊富な経験、技術を有する者がいないため、当隊員の派遣は熱望されている。**

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- **水産高校 漁業科 専攻科卒** の場合 乗船 履歴 5年以上 又は
- **水産大学** " " " の場合 乗船 履歴 3年以上

○ **海技免状** (種類) **乙種船長** (甲種=単船海上以上) は絶対条件

○ (半年間の技術研修) で、1981年の8月~10月派遣 67

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

171 養 殖

調査者氏名 新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish culture	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖(淡水)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Southern Philippines Development Administration  
(日本語): 南部フィリピン開発機構

ロ. 隊員勤務先名称: Lake Buluan Development project 日本語名称 (ブルワン湖開発プロジェクト)  
所在地: Buluan Maguindanao 主要都市からの距離 (マリヤナ)より 60キロ

ハ. 事業規模及び内容:

ブルワン湖の約 5800ha の内陸沼澤を以て地味住居に於て、淡水魚 (コイ) の平均 20.25kg/日) を供給している。

ニ. 設備概要:

現在、水道管等のための施設が不足している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 南部フィリピン開発機構に於ける Advisor
- ② 技術の範囲: 淡水魚 (コイ) の養殖技術の普及
- ③ 業務の形態: 技術者としての技術指導と研究
- ④ 対象者及びカウチング・パートナーの技術水準、工場及び命令:  
漁業者から漁業士としての技術者 (固定的な) が多く、水産関係の文字は中絶しているが養殖に関する知識、技術は低い。
- ⑤ 現地に利用出来る機材:  
本プロジェクトの発足により既に、利用出来る機材は殆んどない。
- ⑥ 使用する現語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

四面海に囲まれたフィリピンに於ける水産資源は無限に近く、最近養殖に注目が集まっている。既にバゴス (淡水魚) の養殖の市場に輸出の商道が開き始まっている。ブルワン湖の内陸沼澤を以て注目される資源の増産が心配されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

留学経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 58 年 4 月 16 日

171 養 殖

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 養殖(海水)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): United Small Fisherman and Farmers  
(日本語): Association of the Philippines, Inc.

ロ. 隊員勤務先名称: 小規模農民協同組合 (日本語名称 )  
所在地: Malita Palau del Sur 主要都市からの距離 (9:より 10キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

約 600 ha の養殖不能の池があり、これを利用して

Prawns, Bangus, Tilapia, eels 等の養殖をしようとする。

ニ. 設備概要:

養殖不能の養魚池のみ

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: 組合所属の技術者

技術の範囲: Prawns, Bangus, Tilapia, eels 等の養殖技術が  
あつたが、唯一の養殖池にのみ

業務の形態: 組合員に対する指導

対象者及びそのサポートの技術水準、量及び年令:

Project Manager の Mr. Rustico Z. Tagarda の地  
に必要に応じてサポートを配置する予定、Bangus  
Tilapia 等のための養殖技術がある。

現地に利用できる機械: 養殖池

取組に当たつての日本人及び日本国内家の配置状況: 2人

使用する言語: 英語、フィリピン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規

フィリピン各地には約 170 万 ha の Bangus, Tilapia 等の養殖が盛んに行つて  
いるが、この Palau del Sur には Fish Pond に可能な場所が多く、この  
養殖は冬半年から期待される。特にこの分野での先進的技術を持つ  
者が同じ組合員、協同組合の要請があるため、この期待を高く。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産学大卒程度があり、当該分野での経験があることが望ましい。

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 3 月 10 日

171 養 殖

調査者氏名 表 伸一郎 氏

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture	(男) / 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 171 養 殖	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Fisheries, Ministry of Fisheries and Livestock  
(日本語): 漁業畜産省 漁業局
- ロ. 隊員勤務先名称: Zangalia, Tessore, Chandina      日本語名称 (各種苗生産養殖場)  
所在地: Fish Seed Multiplication Farm      主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 漁業局は全国に 25カ所の種苗生産養殖場をもち、インドガイ、ワロギイ、イロテカ、等の種苗生産を行ったり、稚魚を村の池等に放流し養殖の普及活動を行っており。
- ニ. 設備概要: 各種苗生産養殖場は、80年よりスタートする 5年計画にて UNICEF 援助約 8,000 万円、JOCV 支援にて各施設拡充予定。

(2) 隊員の業務内容: 現在トギ養殖場に大西隊員がおり、過去自然産卵にまかせておいた稚魚生産を独自の孵化水槽建設、ホルモン注射導入等改善、その技術を全養殖場に導入すべく UNICEF が資金援助することとなり、隊員はその技術指導にあたる。

- 1) 隊員の業務上の地位: 場長と同格
- 2) 技術の範囲: 種苗生産及び普及に関する浅くとも幅広い知識
- 3) 業務の形態: 当面は各養殖場で始まる孵化水槽を含む施設拡充の指導が中心となるが、インドガイのホルモン注射による種苗生産法の確立、養殖飼料製作等の課題となる。
- 4) 対象者及びカテゴリー: 特定のカテゴリーは無いが、場長と話し合って決定される。
- 5) 現地で利用できる機材: 孵化水槽、宿舍、ポンプ小屋、ガク、倉庫等を整備する予定。
- 6) 取組にあける外国人: なし
- 7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧増産計画のため、池、河川の多い当国において養殖は大きな意味をもっているが、資金難のため、単に自然産卵を待つという状況で必要な稚魚を供給できていない。UNICEF と JOCV の共同プロジェクトによる養殖場整備、これによる稚魚供給の飛躍的増大が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):  
ホルモン注射による種苗生産技術があること。



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 18日

171 養 殖

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Fresh Water Fish Culture	(男) 1人	訓練開始 56年 9月12日
	(日本語) 淡水養殖	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 57年 10月 受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Food & Agriculture: Department of Agriculture, Section Fishery  
(日本語): 食糧農業省, 農業局, 水産部

ロ. 隊員勤務先名称: Pokhara Fishery Development Center 日本語名称 (ポカラ水産開発センター)  
所在地: ガンガキ県 ポカラ市 バイナム 主要都市からの距離 (市内より 4 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同センターは フェワ湖 (450ha), ベグナヌ湖 (225ha), ルバ湖 (117ha) の 3湖池を中心に網生簀養殖を行ない 年間10トン余りの生産がある。漁民への養魚技術普及が主な仕事。家鴨 (ハカ) 飼育、造船も同センターの仕事となっている。

ニ. 設備概要: 鯉の稚魚生産用及びフナ・カブの稚魚養成用として 池 5面 (約300m<sup>2</sup>)  
その他 上記3湖池に網生簀 45面 (約2250m<sup>2</sup>) を設置している。

(2) 隊員の業務内容: 同ポカラ市域内の三湖池の水産開発で、現在網生簀養魚を中心に行っている。

当国での動物性タンパク質供給・生産の増進を目標としている。1971年8月に初代隊員が配属されて以来 6人の隊員が協力活動を行ってきた。1975年より試みされた無給餌養殖による網生簀養魚が定着しつつあり 今後は稚魚の毎年安定した生産供給の確立、生産した食用魚販売ルートの確保、一般漁民への網生簀養魚法の普及が重点となる。

① 隊員の業務上の地位: Gazetted 3rd Class (3等級任官) 7. 上級技術者となる。

② 技術の範囲: フナ・カブを主とした網生簀養魚

③ 業務の形態: 上記②に使用する湖池でのフィールドワークが主となる。

④ 対象者及びカテゴリー: 年齢 18~35歳。無学歴者から大学卒まで、技術レベルも様々である。オプサーの内 1名は昭和54年度秋田県内水面水産指導所にて9ヶ月間の研修を修了している。

⑤ 現地で利用している機材: 水産に係る機材は一通り揃っており利用可能。

⑥ 取組における外国人専門家: JUVVの初任シニア隊員が56年3月より協力活動をしている。

⑦ 使用する言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1971年8月より現在まで6代にわたる隊員が継続して配属されており、その評価は高い。ことに4代目(和田隊員)時代よりセンターの方針として力をいれてきた網生簀養殖が軌道に乗りつつあるため、同養殖方法の拡充と、それに伴う稚魚生産への技術指導に実力を発揮できる隊員の派遣を強く希望している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○(大卒(水産・淡水養殖専攻) 実務経験3年)  
フナ・カブの網生簀養殖に関する知識・経験のあること

<西村利治隊員交替>

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55年 3月 4日

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
シリア	(現地公用語) Arabia Al-Farmak	(男) 1 人	訓練開始 55年 10月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 56年 2月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年 4月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先 *General Establishment for Fisheries*

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Al-Moasas Al-Farmak El-Farmak*  
 (日本語): *農務農地改革省 水産公団*

ロ. 隊員勤務先名称: *Thoura Fisheries Laboratory* 日本語名称 (サウラ水産試験場)  
 所在地: *サウラ* 主要都市からの距離 (エルバより140キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *640 km<sup>2</sup>のアサド湖の水産利用を調査しており、すでに引続き西ドイツの援助で Limnology を研究している。アサド湖では現在漁業が行われてはいるが、その水産利用の1環として1978年度より網生費による鯉養*

ニ. 設備概要: *殖が始まりました。1980年に 4m x 4m x 2m の網生費を 50面用い、本格的な養殖が始まると予定である。*

(2) 隊員の業務内容:

① 網生費による養魚の技術指導を行なう。  
 ② 網生費による養魚一般 網の設定、放養尾数の決定、給餌管理、魚病のコントロール

③ 通常 8.00 A.M. ~ 2.30 P.M. 全曜日。シリア祝祭日は休み。

④ '78年度に網生費が始まりました。シリア人の対象者はほとんど網生費養魚と知らない。農学部卒のカウンターパートがいる。

⑤ ⑥ 西ドイツ人専門家数名が5年間に渡り、アサド湖での水産開発の為、技術援助を行ってきた。1980年3月にて契約が切れ彼らは帰国する。機材は西ドイツの援助により、相当、当水試に入れている。一応、日本の一般的水試に匹敵する備品が利用可能である。

⑦ アラビア語と英語

アラビア、ニジマスの網生費飼育も可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西ドイツ人が行ってきた、網生費での養鯉試験から本格的な養殖事業を始める段階にて、外国人専門家が必要とされている。水産公団はアサド湖での網生費養鯉を成功させて、この方法を他の湖。(ホムス湖、ラスタンカム)にて利用する事を期している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○*網生費養鯉の実務経験*を積んだ人。○*大学卒程度*。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養 殖

記入昭和 55 年 3 月 1 日

調査者氏名 大橋 元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルビヤト アルアスマルク	(男) / 人	訓練開始 S. 55 年 10 月
	(日本語) 養 殖	(女) 人	派遣予定 S. 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

General Establishment for Fisheries.

イ. 配属先名称 (現地公用語): アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Mzreeb Farm

日本語名称 (ムズリーフ養魚場)

所在地: ムズリーフ

主要都市からの距離 (デラより 10 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Common Carp と テラピアの種苗生産及び食用魚生産

1979年度 鯉種魚 50 万尾、鯉、テラピアの食用サイズ 5 ton 生産

3,000 m<sup>2</sup> 兼掘り池 19 面、約 300 m<sup>2</sup> セメント池 9 面

ニ. 設備概要: 半流水式の飼育方法を取り、年間を通じ約 20°C の湧水をポンプアップして用水とする。事業内容は未定である。今後、隊員が定めていく必要がある。

(2) 隊員の業務内容:

(77003274-6)

- ① 養魚技術者は一人もいない。技術上ついてはヒッサイを任される。
- ② 上記、半流水式池での鯉、テラピア飼育、鯉の種苗生産、水質管理、魚病のコントロール、オニテナガエビの種苗生産と養殖試験
- ③ 通常 8.00 am. ~ 2.30 pm. 金曜日と祝祭日が休み。
- ④ 現在、養魚知識、経験をもった者が一人もいないので、しかるべきカウンターパートを隊員に付ける様、水産公団に要請した。
- ⑤ 自動給餌器 2 台 (日本からの援助)
- ⑥ 外国人専門家はヒッサイ関与していない。
- ⑦ アラビア語 と 英語

(2) (他国から)

日本からの新魚種の導入。例えば、Tilapia nilotica (赤と黒)、オニテナガエビ、レイン魚、金魚、錦鯉等の養成試験を行かない。その結果有望視されるものをこの養殖場の事業内容に加えて行くという。開発も業務内容に含まれる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979年度より養殖技術者がいない状態で事業が開始された。そして鯉の種苗生産場としてこの養殖場を用いたが、未だ事業内容は未決定である。水産公団の隊員に対する期待は非常に大きく、隊員の力次第でこの養殖場の機能が大きく生かされるであろう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒程度、○英語経験が2年以上は必要であろう。  
○オニテナガエビの養殖経験者

(仮) 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

55. 4. 22

記入 昭和 年 月 日

171 養 殖

調査者氏名 金子 実

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	養 殖	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語):

(日本語): 農業天然資源省水産局

ロ. 隊員勤務先名称:

日本語名称 (ドマリ試験場)

所在地:

ドマリ

主要都市からの距離 (BTより70キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ドマリ試験場 (ティラピヤ、イスラエル製、本場、分場)  
ソバプロット分場 (ニジマス)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- (1) マラウイ人場長、日本人専門家 (JICA) と共にスタッフを指導する。
- (2) T.O.
- (3) ニジマスに関する知識。
- (4) 本場、分場とも J.C.V. の供養により建設。
- (5) 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産学部長が望ましい。